

第 16 次いわき市水道事業経営審議会（第 10 回）議事録

- 1 日 時 令和元年 9 月 5 日（木） 午後 3 時～午後 5 時 20 分
- 2 場 所 水道局 3 階 第 1 会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員 (出席：11 名)
阿部健一、石山伯夫、岩崎楨子、上遠野和村、鈴木俊彦、高橋孝光
長谷山信一、福迫昌之、古川広子、俣田真志、吉田裕一
(欠席：4 名)
伊藤幸恵、小野卓也、佐久間幸子、吉田恭子
※ 50 音順・敬称略
 - (2) 事務局 木村管理者、加藤局長、志賀次長、大津総務課長、佐藤経営企画課長
黒羽営業課長、則政配水課長、永山工務課長、横田浄水課長
鈴木南部工事事務所長
○ 経営企画課
盛課長補佐、丹野企画係長、箱崎財政係長
企画係〔稲村、木村、高木、新井、吉田〕
- 4 会議形式 公開
- 5 傍聴者 1 名
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 議事
ア 前回の議事録について
イ 水道料金制度の今後の方向性について
ウ いわき市水道事業 事業評価（平成 30 年度事業）について
エ 平成 30 年度いわき市水道事業 決算の概要・財政計画との比較について
 - (4) その他
 - (5) 閉会
- 7 審議事項（審議要旨）
 - (1) 前回の議事録について
前回（第 9 回）の議事録が了承された。
 - (2) 水道料金制度の今後の方向性について
<事務局説明>
前回到引き続き、水道料金制度の今後の方向性について、今までの審議委員の質問や

意見、水道局からの回答などの説明を行った。

- 委員から、「今までの審議から結論を導き出すには、ざっくりとしたものにするしかないと思う。」との意見があり、別の委員からも「おおまかな方向性としてまとめたもので良いと思う。国の考え方を基本としながら、まずは基本料金と水量料金の割合を4対6のところから始めて料金改定ごとに少しずつ基本料金の割合を高め、徐々に健全な経営に近づけていくしかないと思う。

また、市民の皆さまに料金改定の説明をする際には、料金値上げの必要性や水道をあまり使用しない低料金のお客様の負担割合なども説明して理解を得ることが必要である。

なお、具体的な料金体系や改定時期については、アセットマネジメントや次期中期経営計画において、資金が不足する時期を見定めて、その時に向けて料金改定の委員会ですっかり議論をしてほしい。」との意見があった。

- 委員から、「これまで説明のあった料金の見直しをすることにより、今までの需要の抑制という考え方だけでなく需要を掘り起こす必要が出てくる。そのためにはマーケティングやマネジメントといった観点が必要になると思うが、その方向性についての考えを教えてほしい。」との質問があり、事務局からは、「今後において、大口需要者の訪問を行い、水道水の利用促進PRのほか、今後の水利用などの動向調査も必要と考えており、また、その動向調査を今後の水需要予測に反映させ、料金体系をどのようにすべきか検討したいと考えている。」との回答があった。

- 委員から、「現在は施設の維持管理の時代とのことだが、実は縮小の時代だと別のところで話を聞いた。審議会では現在の施設を維持管理していくための議論をしているように感じるが、水需要を掘り起こすといっても人口は減少していき、産業が日本から流出しているような状況では料金の回収を図るのは難しいと思う。

料金の回収が難しいということは、設備が過大であることも側面としてあるため、必要な施設を見極めて、縮小していきつつも市民生活に影響が出ない形でどのように収束させるかが非常に大事だと思う。そうして、施設の縮小を進めながら、利用者にもどのように負担してもらって事業を運営していくための資金を回収していくかという視点も大事だと思う。」との質問があり、事務局からは、「水道局でも将来の水需要に合わせスペックダウンやダウンサイジングをしながら資産をスリム化し、今後の投資規模の抑制や効率的な事業運営、水道施設運営をしていく必要があるため、現在策定中の水道施設総合整備計画において将来的な施設のあり方について検討しているところである。」との回答があった。

- 委員から、「いわき市だけで水道事業を運営していくことが最適なのか。近隣の市町村と事業を統合して、上流に大きな浄水施設を整備するなどの広域化の研究も進める必要があるのではないか。」との質問があり、事務局からは、「広域化については、今回

の水道法改正において広域化を進めながら水道基盤の強化をしていくことになっており、現在、県を中心に広域化を検討しているところであるため、今後も広域化を推進する会議に参画し、調査・研究しながら効率的な事業運営を進めていく考えである。」との回答があった。

- 委員から、「ダウンサイジングが有効なのは浄水場などの施設であり、管路は減径しても工事費があまり変わらない。また、水源関係の上流移転は非常に効果があるが、上流に向かうほど取水量は減るので渇水時の危険度が増す問題がある。ただし、非常に良い提言なので今後の計画に取り込んでほしいと思う。」との意見があった。
- 委員から、「広域化はダウンサイジングを促進すると別のところで聞いたので、そういった観点からも近隣の市町村と連携する必要があると思う。」との意見があり、別の委員から、「広域化の趣旨は、日本国内の7割を占める給水人口5万人以下の事業体の多くが赤字に陥っていることから、このような事業体をある程度の規模にして健全な経営を維持させるためのことになる。」との意見があった。
- 料金制度の今後の方向性について、次のとおり意見の確認を行った。
 - ・ 料金制度の見直しの必要性については理解した。
 - ・ 見直しにあたっては、様々な視点での考え方や考慮しなければいけないことも分かった。

(3) いわき市水道事業 事業評価（平成30年度事業）について

<事務局説明>

資料 15 いわき市水道事業 事業評価（平成30年度事業）について説明を行った。

- 委員から、「業務指標評価の評価結果のところの持続の乖離値において漏水率、施設利用率、配水量1 m³当たり電力消費量、有収率、給水原価等が平均よりも低い指標になるのは、ハードの問題なのか。」との質問があり、事務局からは、「水需要に応じて浄水場をコンパクトに作り替えていけば、施設利用率は上がるが、更新時期はまだ先であり、水需要自体が減少する見込みのため、施設利用率は下がっていくと思う。

また、配水量1 m³当たり電力消費量もいわき市のような地形の場合ポンプを多く設置しないとイケないため、最新のインバーター方式などのポンプに極力更新していくが、水需要自体が減少する見込みのため、類似団体より低い指標になっていくと思う。

このことから業務指標が低いのは、ハードの問題と思われる。」との回答があった。

- 委員から、「ハードの問題で施設利用率、配水量1 m³当たり電力消費量などが今後も悪化するのであれば、中期的あるいは長期的にこの指標をどのようにしていく考えなのか。」との質問があり、事務局からは、「業務指標の評価は給水人口で区分した類似団体の平均と比較をしているため、本市特有の広大な面積や起伏のある地形により一部悪い評価になった部分があり、すぐに改善することは難しいため、水道施設総合整備計画や今後の経営計画の中で徐々に改善を図りながら持続可能な経営を目指してい

きたいと考える。」との回答があった。

- 平成 30 年度事業評価について、次のとおり意見の確認を行った。
 - ・ 平成 30 年度事業評価では、新・いわき市水道事業経営プランで掲げた 11 の目標は、全て A 評価であり、順調に進捗していることを確認した。
 - ・ 事業レベルでは、計画を見直したことにより、「基幹浄水場連絡管整備事業」や「浄水施設耐震化事業」で当初の計画と比べ遅れが生じている状況にあることから、着実に事業を進められるよう進行管理を行っていく必要がある。
 - ・ 平成 30 年度事業評価の事業運営の目標では、「有収率」などの目標が未達成なものがあることから、目標達成に向けて、着実かつ効率的に事業を進める必要がある。
 - ・ 業務指標評価では、「管路の耐震管率」や「施設利用率」などについて、類似団体と比較すると低い状況にあることを確認した。
 - ・ 現行の計画において関連する事業を積極的に展開し、計画の目標に近づくよう事業を進める必要がある。

(4) 平成 30 年度いわき市水道事業 決算の概要・財政計画との比較について

<事務局説明>

資料 16 平成 30 年度いわき市水道事業 決算の概要・財政計画との比較について説明を行った。

- 委員から、「収益的収支の前年度比較で、人件費が 10%弱、一億円くらい減少している理由を教えてほしい。」との質問があり、事務局からは、「建設改良費の事業量が増加したため、その分の人件費を収益的収支から資本的収支に移したためであり、実質的には減少していない。」と回答があった。
- 平成 30 年度決算の概要・財政計画との比較について、次のとおり意見の確認を行った。
 - ・ 平成 30 年度決算において財政計画を上回る資金残などを確保したことから、良好な経営状態であり、現時点では、現行の料金水準で令和 3 年度まで現中期経営計画通りに事業を進めることが可能であることを確認した。

(5) その他

- 第 11 回審議会について（詳細は別途通知）
 - ・ 日 時 10 月 10 日（木）15:00～17:00
 - ・ 内 容 答申（案）の作成について

8 閉会